



釧路文学館開設への歩み

- 平成 元年 釧路文学団体を中心に「釧路文学館を考える会」が発足、文学館開設運動が始まる
- 平成 2年 文学館開設に向けた「趣意書」を市長と教育長に提出
- 平成 3年 釧路市総合計画に文学・演劇館の設置が位置づけられる
- 平成 4年 釧路文学館を考える会が文学館建設を市長と教育長に陳情
- 平成 5年 釧路市教育委員会が「釧路文学館構想研究懇話会」を設置
- 平成 8年 釧路文学館構想研究懇話会が教育長へ釧路文学館構想を提言
- 平成11年 釧路市総合計画(平成11～20年度)に文学館構想が位置づけられる
- 平成14年 釧路文学館を考える会が文学館建設を改めて陳情
- 平成15年 釧路文学館を考える会が収集した文学資料約1万3千点を釧路市に寄贈
釧路市が寄贈を受けた文学資料の分類・整理及び活用のため「釧路市所蔵文学資料活用会議」を設置
- 平成16年 「釧路市文学団体協議会」が文学館開設資金として100万円を釧路市に寄付
- 平成18年 釧路文学館を考える会が釧路文学館の実現を陳情
- 平成20年 釧路市総合計画(平成20～29年度)に文学館設置を明記
- 平成26年 文学館を併設する新図書館を北大通の民間ビルに設置することを検討
- 平成27年 文学館を併設する新図書館の基本設計、実施設計が行われる
- 平成28年 新図書館建設工事中
- 平成30年 釧路文学館開設(2月3日)



【アクセス】
 徒歩：JR 釧路駅から8分
 バス：くしろバス「北陸銀行」・「中央図書館・道銀前」停留所下車
 タクシー：釧路駅より3分

【駐車場】
 図書館利用者専用駐車場(無料70台)

【入館料】
 無料

釧路文学館

〒085-0015 釧路市北大通10丁目2-1 [釧路市中央図書館6階]
TEL.0154-64-1740・FAX.0154-64-1741

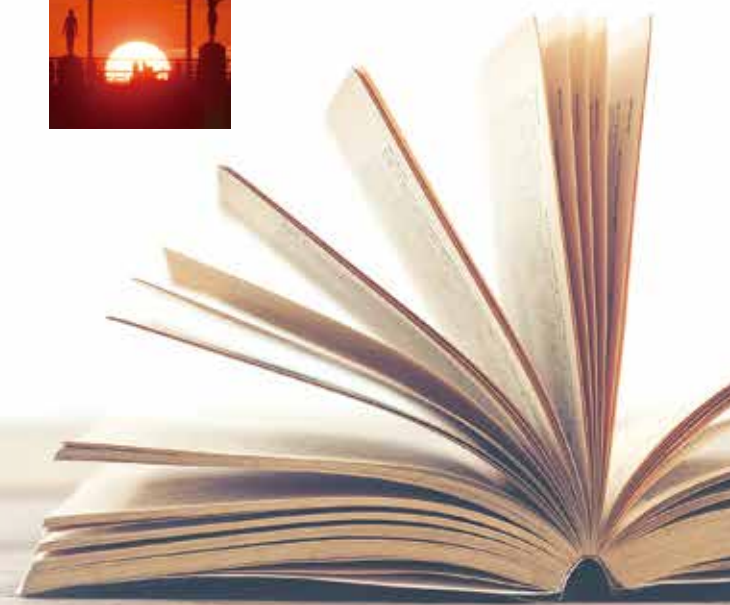
開館時間 / 9:30～19:30
 休館日 / 月曜日(祝日を除く)・毎月最終金曜日・年末年始(12月29日～1月3日)

※内容は予告なく変更になる場合がございます。



釧路文学館

Kushiro Museum of Literature
 ご利用ガイド





釧路文学館—それは、「文学の街、釧路」の発信拠点

釧路文学館は、釧路ゆかりの文学に関する資料を貴重な文化的資産として後世に残すために開設されました。

資料を収集、保存するとともに、展示や講座、朗読会を行い、「文学の街、釧路」の情報発信と地域の文学活動を支える拠点としての役割を担います。

A 釧路文学の歴史



明治時代から釧路のまちの発展とともに文学活動が展開され、多くの優れた文芸作品が生まれてきました。このコーナーでは、「釧路文学の黎明」「昭和戦前期」「昭和戦後」「昭和後期」「平成」の5つに時代を区分し、それぞれの時代の文学活動を紹介するパネルと関連資料を展示しています。

B 釧路ゆかりの作家たち



原田康子、桜木紫乃、石川啄木、中戸川吉二、更科源蔵、土屋祝郎、荒澤勝太郎、小松伸六、佐佐木武観、永田秀郎、鳥居省三の11人を取り上げて紹介し、直筆原稿や初版本などを展示しています。

C 現在の文学活動



創作、詩、川柳、俳句、短歌、演劇のジャンルごとにパネルや資料を展示し、現在の活動状況を紹介しています。

D 企画展示スペース



釧路の文学により深く親しみ、興味が持てるような企画展示を年4回ほど開催します。

E 新着コーナー



F ビデオ閲覧室

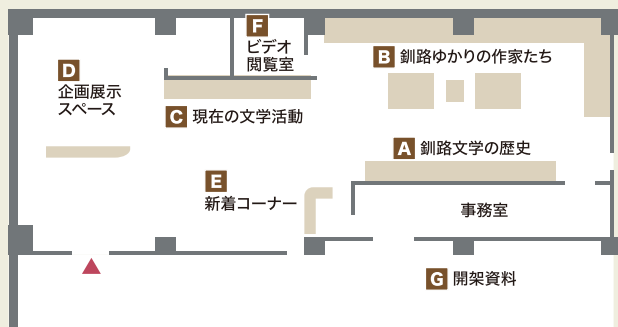


G 開架資料

釧路市中央図書館の文学館に面した書架には貸出可能な資料があります。



釧路文学館フロアマップ



タッチパネル



文学マップ
文学碑の場所と小説の舞台を地図に表示しています。



年表で見る釧路文学の歴史
文学活動の歩みを年表形式で紹介しています。